

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都品川区南大井 6-22-7 大森ベルポート E 館
園名	アスク南大井保育園

1. 活動のテーマ

【えいご】国旗や地図などから様々な外国について知ろう。

＜テーマの設定理由＞

・保育園に外国児童が数人いるか中で、日本以外にどんな国があるのか。外国はどんな文化があるのか。を国旗を中心に探求しながら理解を深めていく。

2. 活動スケジュール

11月から3月まで行い、月に1回ネイティブの講師を招致し他国の文化に直接触れる機会を創出することで深く探究活動ができるようにする。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・国旗カード・国旗の塗り絵・オリジナルの国旗の塗り絵　・世界地図パズル
世界の図鑑

4. 探究活動の実践

- ・国旗カードを使って様々な国の名前を英語で発音した後、国旗の色やマークなど特徴を見つけて英語で発音した。
- ・国旗カードで絵合わせクイズをした。
- ・国旗の塗り絵をした。
- ・自分だけのオリジナルの国旗を作り、その国旗の特徴を英語で発音して説明した。

<活動の内容>

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

国旗カードを見ながら講師の発音を真似して発音した。クイズ方式で覚えることで楽しみながら覚えていた。また普段の活動でも自ら塗り絵をする姿も見られ、国旗の特徴も少しずつ覚え始めていた。

自分で作ったオリジナルぬりえの国旗をグループ内や全員の前で発表し、国旗の特徴を伝え、自分の考えた事、発表する場が持てた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

クイズや塗り絵をすることで、楽しみながら覚えることが出来て良かった。普段の活動にも取り入れやすい為参考にしていきたい。

国旗のぬりえやトランプ、図鑑を見て活動していく中で、国旗の特徴や名前を覚えることが出来た。国旗の柄が似ている国を子ども同士で話し合う姿が見られ、すくわくプログラムを通して探求する意欲が高まっていた



とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都品川区南大井 6-22-7 大森ベルポートE館
園名	アスク南大井保育園

1. 活動のテーマ

【えいご】国旗や地図などから様々な外国について知ろう。

<テーマの設定理由>

・保育園に外国児童が数人いるか中で、日本以外にどんな国があるのか。外国はどんな文化があるのか。を国旗を中心に探求しながら理解を深めていく。

2. 活動スケジュール

11月から3月まで行い、月に1回ネイティブの講師を招致し他国の文化に直接触れる機会を創出することで深く探究活動ができるようにする。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・国旗の絵カード ・国旗の塗り絵 ・国旗のトランプ ・地球儀・カラーペン ・世界地図パズル

4. 探究活動の実践

- ・国旗カードで絵合わせゲーム
- ・国旗カードを使った、だるまさんがころんだ
- ・オリジナル国旗づくり
- ・オリジナル国旗の発表会 ・国旗クイズ

<活動の内容>

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

国旗の絵カードを見て、講師とともに国旗の国名や色、形を英語で答えた。国旗の絵カードを使ったゲーム(絵合わせ、だるまさんがころんだ等)を行うことで楽しみながら、国旗を覚えていく姿が見られた。また、国旗の塗り絵を使用し自分でオリジナルの国旗を楽しみながら作成していた。最終的に国旗を見ると、英語で国名を答えられるまで成長した姿が見られた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

ただ国名を発言して覚えるだけではなく、塗り絵やゲームをしながら学んでいくことで、楽しみながら子どもたちの興味を促すことが出来た。また、国旗の色や形、国の特徴など様々な視点から学んでいくことで、こどもたちの興味が広がった。



とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都品川区南大井 6-22-7 大森ベルポートE館
園名	アスク南大井保育園

1. 活動のテーマ

【えいご】国旗や地図などから様々な外国について知ろう。

<テーマの設定理由>

- ・自分が住んでいる国以外の国や国旗の違いを活動の中で知っていく。
- ・外国や国旗、異文化に興味がある子が多い。地域柄在園児にも外国人が多く、今回を機に日本以外の事も知ってもらいたい為。

2. 活動スケジュール

11月から3月まで行い、月に1回ネイティブの講師を招致し他国の文化に直接触れる機会を創出することで深く探究活動ができるようにする。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・国旗の絵カード ・国旗の塗り絵 ・国旗のトランプ ・国旗パズル ・地球儀・世界地図パズル・世界の図鑑・カラーペン

4. 探究活動の実践

- ・国旗カードのクイズ
- ・国旗カードで絵合わせゲーム
- ・国旗カードを使った、だるまさんがころんだ
- ・オリジナル国旗づくり
- ・オリジナル国旗の発表会 ・国旗クイズ

<活動の内容>

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

国旗の絵カードを見ながら、講師と国名や国旗の特徴(色や形など)を英語で発音した。国旗のカードを使ってだるまさんが転んだや、神経衰弱をすることで楽しみながら取り組んでいた。また、自分のオリジナルの国旗を作る事で、国旗に興味を持ちさらに楽しんで参加する姿が見られた。

繰り返しプログラムを進めて行く中で、国旗と国名を認識し子ども同士で国名を言い合っ



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

国旗を覚えるだけでなく、ゲームやオリジナルの国旗を作る事で興味を持ち、楽しんで取り組むことができた。また、地球儀や世界地図のパズルを部屋に用意することで、国旗への興味を深めていた。



とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都品川区南大井 6-22-7 大森ベルポート E 館
園名	アスク南大井保育園

1. 活動のテーマ

【おんがく】・音の鳴る仕組みを考える。オノマトペを使いながら身近な音を探してみよう！

<テーマの設定理由>

・オノマトペを考えながら音について知り、音について探求しながら身近な音について理解を深める。楽器に触れる機会が少ないので楽器がなくても身近にあるもので様々な音がある事を知る。

2. 活動スケジュール

1 1月から3月まで行い、月に1回音楽の講師を招致し楽器の演奏や歌声など本物に触れる機会を創出した。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・楽器カード・絵本「じゃあじゃあびりびり」・ペットボトル・お菓子の箱・ボール
- ・新聞紙ちぎり・ボールペン・紐・楽器(太鼓、トライアングル、ピアノ、鈴)・CD
- ・楽器の仲間分けボード
- ・すくわくプログラムがきっかけで、和楽器コンサート団をイベントとして園に呼び、楽器体験も行なった。

- ・オノマトペの絵本を読んでオノマトペとはどんなものか知った。
- ・身近にあるものや歌の中からオノマトペを探した。
- ・楽器カードを使ってどんな楽器があるのか、どうやってその楽器は音を鳴らしているのか考えた。
- ・実際に楽器を鳴らしてみたり、CD で楽器の音を聞いたりすると楽器の音の違いを知った。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

絵本の中に出てくるオノマトペを繰り返し発音し、身近にあるものに自分たちでオノマトペをつけて楽しんでいた。楽器の音の鳴り方を実際に触ったり聞いたりし、音の感じ方を身振りで表したり、「楽しい音」「静かな音」など言葉で伝えたりしていた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今まではただ音楽に合わせて歌ったり踊ったりするだけだったが、音の仕組みに詳しくなったことで音の強弱や響き方によって表現の幅が広がった。

音の中でも同じような音が出るもの、オノマトペが似ているものや子どもたちのオリジナリティ溢れるオノマトペが出てきて発想が豊かになった。保育園内にある身近な物だけでなく、散歩先で落ち葉を踏んで「くしゃくしゃ」など普段の子どもたちの生活の中でオノマトペが出ていたのが驚いた。



とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都品川区南大井 6-22-7 大森ベルポート E 館
園名	アスク南大井保育園

1. 活動のテーマ

【おんがく】・音の鳴る仕組みを考える。オノマトペを使いながら身近な音について知る。

＜テーマの設定理由＞

・オノマトペを考えながら音について知り、音について探求しながら身近な音について理解を深める。楽器に触れる機会が少ないので楽器がなくても身近にあるもので様々な音がある事を知る。

2. 活動スケジュール

1 1月から3月まで行い、月に1回音楽の講師を招致し楽器の演奏や歌声など本物に触れる機会を創出した。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- | | | | |
|-----------------|--------|----------|-----|
| ・絵本『がちゃがちゃどんどん』 | ・箱 | ・太鼓 | ・CD |
| ・楽器カード | ・ボールペン | ・トライアングル | ・玩具 |
| ・ペットボトル | ・新聞紙 | ・ピアノ | ・ベル |

4. 探究活動の実践

- ・オノマトペ探し
- ・オノマトペビンゴ
- ・楽器のグループ分け
- ・楽器クイズ

<活動の内容>

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

オノマトペビンゴを通して、身の周りにあるものからオノマトペを探した。ビンゴカードを見ながら、楽しんで音を探す姿が見られた。その後、音の鳴る仕組みに着目し違いがあることを知った。楽器や玩具を使用し、視覚的に分かりやすく音の鳴る仕組みを理解することができた。音の鳴る仕組みを理解した後に、楽器カードを一人一枚引いてもらい、同じ楽器のグループを作ってもらった。迷う事なくグループを作る事ができていた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

身近な音を探すことで、子どもたちの探求心を促すことが出来た。また実際の楽器や音を聞くことで、子どもたちもイメージがしやすいように感じた。音の仕組みを理解するのは難しいと思ったが、適切な順序で行ったことで音に対する興味関心を促すことができた。

・オノマトペを知る中で、身近な音を知るだけでなく実際に色々な音がする事を知ってもらうために「和楽器コンサート」を園に呼び、伝統楽器についても知る機会が持てた。



とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都品川区南大井 6-22-7 大森ベルポート E 館
園名	アスク南大井保育園

1. 活動のテーマ

【おんがく】・音の鳴る仕組みを考える。オノマトペを使いながら身近な音について知る。

＜テーマの設定理由＞

オノマトペを考えながら音について知り、音について探求しながら身近な音について理解を深める。楽器に触れる機会が少ないので楽器がなくても身近にあるもので様々な音がある事を知る。音がどのように鳴るか知る。楽器への興味を深める。自ら音を生み出す

2. 活動スケジュール

11月から3月まで行い、月に1回音楽の講師を招致し楽器の演奏や歌声など本物に触れる機会を創出した。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- | | | | |
|-----------------|--------|----------|-----|
| ・絵本『がちゃがちゃどんどん』 | ・箱 | ・太鼓 | ・CD |
| ・楽器カード | ・ボールペン | ・トライアングル | ・玩具 |
| ・ペットボトル | ・新聞紙 | ・ピアノ | ・ベル |

4. 探究活動の実践

- ・オノマトペ探し
- ・オノマトペビンゴ
- ・楽器のグループ分け
- ・楽器クイズ
- ・和楽器コンサートを開催し、楽器にじかに擦れる体験を行う。

<活動の内容>

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

オノマトペをただ探すのではなく、ビンゴを通して生活の中のオノマトペを探すことで楽しく活動していた。子どもたちから、積極的に「これもオノマトペだね!」と気付く姿も見られた。楽器の音の鳴る仕組みは、特に興味を持っておりグループ分けをすることでより興味を深めていた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

すくわくの時間外でも【曇りだね、雲は、もくもく】【おなかがすいた、ぐーぐー】など、どんなオノマトペがあるのか聞くことで子どもたちの興味を引き出すことができた。子どもによってはオノマトペの擬音も違いがあった。

保育園にある身近な物で音を出す活動を取り入れ、発表会などにも今後は活かしていけると感じた。



とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都品川区南大井 6-22-7 大森ベルポートE館
園名	アスク南大井保育園

1. 活動のテーマ

【たいそう】とぶ。

・どうやったら高くとべるか。どんなジャンプの姿勢があるか。「とぶ」について考える。

<テーマの設定理由>

身体の使い方、とびかたを探究活動の中で知ってもらう。園庭がない園なので、保育室内で身体を使った活動を取り入れたかった為。

走る。は、よく活動に取り入れるが、とぶについてもっと身近に感じて、実践する機会が欲しかった為。

2. 活動スケジュール

1 1月から3月まで行い、月に1回体操の講師を招致し身体の動かし方についてこどもたちの前で実演をしたり、探究心を書き立てる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・アンパンマン体操の音源・マーカープレート・跳び箱・縄跳び・からだの仕組み絵本

4. 探究活動の実践

- ・アンパンマン体操を踊って、ダンスの中にあるジャンプを上手く跳ぶためにはどうすればいいのか考えた。
- ・マーカープレートを使って遠くまで飛ぶ方法を考えた。
- ・跳び箱、縄跳びを使って様々なジャンプがあることを知り、実際にどうやって跳ぶのか試してみた。

<活動の内容>

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

様々なジャンプがあることを知り、実際にジャンプしながらどうやってジャンプしていたか周りの子と考える意見を出し合った。自分の考えを積極的に発表しようとする姿が見られた。上達してくると嬉しそうにしていた。

「ひざをまげる」「うでをふる」など高く、遠くへとぶためにはどうしたらいいかという問いに子どもたちがグループで考え、意見を出し、その後自分たちで実行に移して、何回もジャンプを試していたのが印象的だった。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

何気なく行っているジャンプにも様々な跳び方があることに気付くことが出来た。自分の意見を発表する場が多かったため、伝える力、聞く力が身についてきた。

とびかたを探究する前と探究した後とで記録を残すことで子どもたちも前より高く飛ぶことに楽しみを得ていた。普段の保育でも記録する、子どもたちが目に見てわかるものを提示するのは大事だと気付いた。



とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都品川区南大井 6-22-7 大森ベルポートE館
園名	アスク南大井保育園

1. 活動のテーマ

【たいそう】とぶ

・どうやったら高くとべるか。どんなジャンプの姿勢があるか。「とぶ」について考える。

<テーマの設定理由>

・とぶ。ことをプログラム内で行いながら、身体の使い方、とびかたを探究活動の中で知ってもらふ。園庭がない園なので、保育室内で身体を使った活動を取り入れたかった為。

2. 活動スケジュール

1 1月から3月まで行い、月に1回体操の講師を招致し身体の動かし方についてこどもたちの前で実演をしたり、探究心を書き立てる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・CD ・マーカプレート ・跳び箱 ・マット ・縄跳び・ジョイントマット

4. 探究活動の実践

- ・ジャンボリミッキーを踊る。振り行けの中だとぶを見つける。
- ・立ち幅跳び
- ・跳び箱ジャンプ
- ・縄跳びでジャンプを探す

<活動の内容>

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

楽しくジャンプを探せるようジャンボリミッキーを踊り、グループに分かれてどんなジャンプがあるのか意見を出し合った。前に跳ぶジャンプとして立ち幅跳び、上に跳ぶジャンプとして跳び箱を行い、ジャンプの違いを体感してもらった。最後に縄跳びを使用し、グループに分かれてオリジナルの跳び方を考えた。体を動かすことを楽しむ姿が見られた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

跳び方の中にも様々な種類があることを体感することが出来てよかった。立ち幅跳びや縄跳びは、記録として残るため、子どもたちも自分の成長を感じることが出来た。グループでの話し合いが多かったが、全体で体を動かす時間を多めにとってもよかったと思った。



とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都品川区南大井 6-22-7 大森ベルポートE館
園名	アスク南大井保育園

1. 活動のテーマ

【たいそう】とぶ

- ・どうやったら高くとべるか。どんなジャンプの姿勢があるか。「とぶ」について考える。

<テーマの設定理由>

- ・『とぶ』種類によって自身の身体のどこをどう使っているのかを考察、探求し、高く、遠くへとべるようになるために出来る事を考え実践する。
- ・道具を使うことで記録にどのような変化があるか記録し、記録にも興味関心を持ってもらう為。

2. 活動スケジュール

11月から3月まで行い、月に1回体操の講師を招致し身体の動かし方についてこどもたちの前で実演をしたり、探究心を書き立てるようにする。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・CD ・マーカプレート ・跳び箱 ・マット ・縄跳び・ボール・ジョイントマット

4. 探究活動の実践

- ・ジャンボリミッキーを踊る
- ・立ち幅跳び
- ・跳び箱ジャンプ
- ・縄跳びでジャンプを探す

<活動の内容>

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

ジャンボリミッキーを踊り楽しみながらどんなジャンプがあるのか振り付けを探していった。また、グループに分かれてどんなジャンプがあるのか。どうしたら遠くへとべるか。体の使い方等の意見を出し発表した。マーカープレートや跳び箱、縄跳びなどを通して体を動かしながらジャンプの種類を探した。

グループごとに話し合いをしているいろんな意見を取り入れていく姿が見られた。記録を取り、どうしたら記録が伸びるか目に見える形で取り入れた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

グループでの話し合いをすることで、自分で考える力や相手の考えを聞く力が身についていた。また、跳び箱や縄跳びは跳べたという達成感も味わう事ができ、子どもたちの自信に繋がっていた。縄跳、大縄は発表会で披露する場もすくわくプログラムの実践の成果として保護者に披露することが出来た。

